

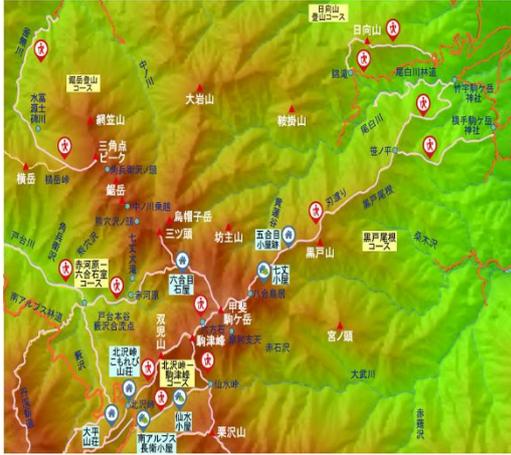
山行報告書

京都田辺山友会

報告者 中村

山名	甲斐駒ヶ岳(9月21日～23日)	山行名	甲斐から信濃へ横断の山旅(2泊3日)
ルート	22日(日) 麓の山小屋(送迎バス)竹宇駒ヶ岳神社(約7時間)七丈小屋 23日(月) 七丈小屋(約3時間)甲斐駒ヶ岳(約3時間)北沢峠		
山行日	2024年9月22日(日)～23日(月)	天候	22日雨 23日快晴
参加者	リーダー: サブリーダー: 男性: 中村 合計: 1名		

ルート概略図



コースタイム

地名 (22日)		時:分	地名 (23日)		時:分
竹宇駒ヶ岳神社	集		七丈小屋	着	
	発	7:27		発	4:20
一合目 山の神	着	8:40	九合目 烏帽子岩	着	5:55
	発	8:50		発	5:59
三合目 ロノ摩利支天	着	10:54	甲斐駒ヶ岳	着	6:37
	発	11:04		発	7:00
五合目 屏風岩 霊神碑	着	12:41	摩利支天	着	7:42
	発	12:46		発	7:50
七合目 七丈小屋	着	13:47	長衛小屋	着	11:17
	発			発	

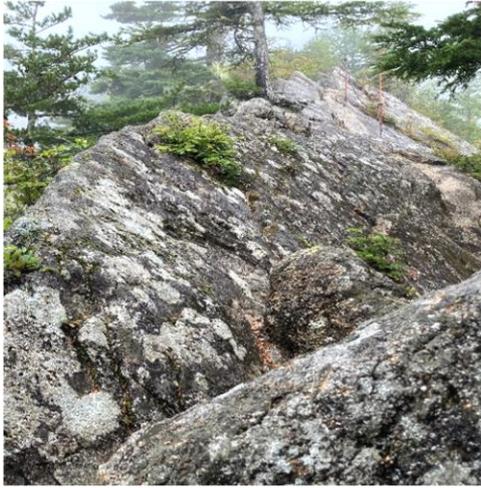
山行報告

22日(日) 竹宇駒ヶ岳神社で、祝詞と本覚讃を唱えお参りする。雨の中、下着の上に上下の雨具、蓑笠の装束で出立する。ゆっくり歩を進め、雨蛙に励ませられて、急登を進む。精根が尽きかける頃一合目に着いた。祝詞を唱える。以後、拝所では祝詞を唱えた。三合目を過ぎ11時10分刃渡りを通して。一時雨が止んだが、ガスっていて、鳳凰三山は望めない。11時37分、四合目に到着。雨の中、立ちながらパンを食べる。ザックを下すと、雨に濡れた体が冷たい。少し、体が温まる。まもなく下りが続き不安になるが、12時41分、コルにある五合目屏風岩に到着。昼になり、気温が上がり、体の冷たさから解放された。垂直のはしご、鎖場など難所を通過し、ぐんぐん高度を上げる。前方に小屋が見え、本日の行程は終わった。

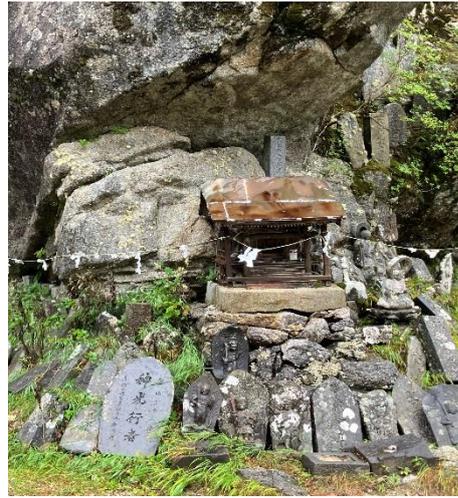
23日(月) 弁当持参で、満天の星空のもと、ヘッドランプをつけて出発する。ところどころ、鎖場があり、石灰岩の道は、暗いと見分けがつきにくい。夜が白む頃、八合目に到着。九合目の手前で、雲海からご来光を拝む。烏帽子岩には、剣が二本天に突き出ている。東峰で駒ヶ岳神社(奥宮)を拝し、すぐ頂上(西峰)に着いた。360度のパノラマを満喫する。稲荷弁当の朝食を食べる。下り道から横断して少し登り摩利支天に到着。朝日がまぶしい。駒津峰からの急な下りでは、たくさんの登山者とすれ違う。昼前に長衛小屋に到着した。

山旅として、21日は、サントリー南アルプス白洲工場で天然水をゲット。23日北沢峠からバスでゼロ磁場の分杭峠へ行き、エネルギーをチャージした。<感想>雨天決行は、予定どおりだが、単独行は想定外。体を自愛しながら難所を超える。登頂より登る過程に味わいあり。

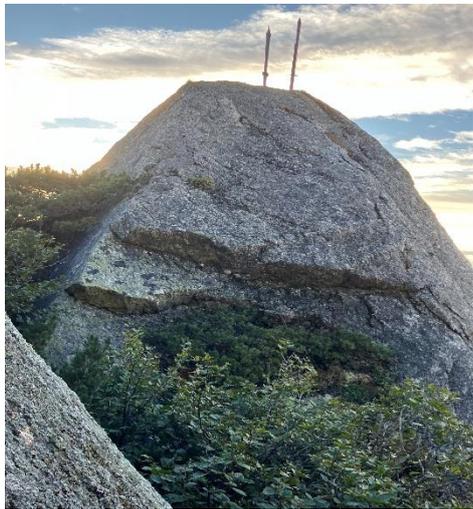
ヒヤリハットなし



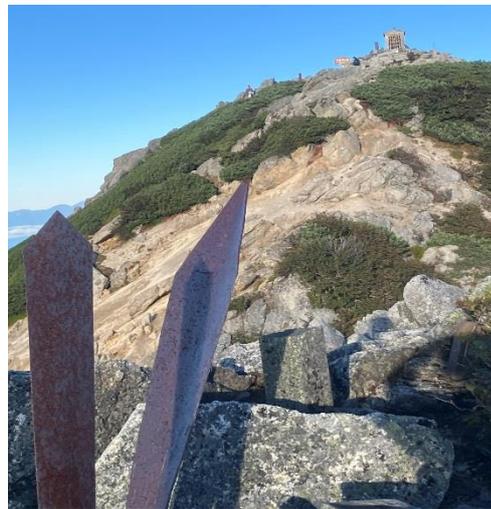
刃渡り（黒戸尾根）



屏風岩（五合目）



烏帽子岩（九合目）



奥宮（東峰）から頂上（西峰）



摩利支天から頂上



仙水峠から北沢峠